

Builder:
SAATHAUS
(山二ハウジング)

Note:
長野市/T邸
家族構成/6人



A



B



C



親でもある娘さんも「家中どこでも遊べて、みんな本当に楽しそう」と大満足のご様子です。土に触れ、緑や風を感じる健やかな暮らし。T邸の自慢は祖父母から孫まで、世代に関係なく、誰もが素直に気持ちいいと思える環境です。それは、人と自然がうまく共生できているからこそ。「東向きのリビングも大正解でした」と奥様。東西に長い土地を利用し、庭との一体感を演出した空間は、目線の先を遠く山並みへと誘います。「ここで朝日を浴びて一日のパワーをチャージするんです」と笑います。

A_日光が燦々と降り注ぐ大屋根に太陽光パネルを取り付けた。「自家発電ができるのは心強いですよね」とご主人。EV車の充電設備もあつらえたそう。 B_敷地の東角に立つ小屋は子どもたちの遊び場として設置。通りからもよく目立つT邸のシンボルに。 C_リビングから視線は自然に外へと続く。庭や小屋で遊んでいる子どもたちの様子が一目瞭然。友だちもやって来て、毎日大賑わいだとか。

アップデートしながら快適に暮らす

家をきつかけに
暮らしそのものを楽しむ
三世代の仲良しファミリー

大家族が集う、古き良き昭和の暮らし。そんな理想ともいえる日常が、ここT邸にはあります。三世代六人が肩を寄せ合い、笑ったりケンカしたり。どっしりと構えた大屋根が、誇らしげに家族を見守ります。

実家の建て替えに伴い、娘さん家族との同居を決めたご主人。思い描いたのは「みんなで楽しく過ごせる家」。手がけたのは、山二ハウジングの新ブランド「ザートハウス」です。長野で半世紀以上の実績をもつ同社のコンセプトは「家が「きつかけ」になる」。家をきつかけに暮らしや可能性を広げ、次世代へつなぎ育てる。大切なのは家族とともに成長し、さまざまな変化に柔軟であること。将来を見据えた住まいは、子育てにいそしむご夫妻にとっても頼もしい存在です。

爽快な青空のもと、育ち盛りの子どもたちは、いつだって元気いっぱい。三人の男の子の母



G 対面式キッチン、作業中もみんなの顔が見られるようにと奥様が希望。キッチンカウンタ
ー下の造作棚は当初扉がなく、後付けしたもの。「必要に応じてプラスマイナスできるのは助
かりますね」 **H** みんなの手拍子に合わせて趣味のギターを弾くご主人。吹き抜けて木づくり
のリビングは音響もよくホールのような。ゆくゆくはお孫さんのピアノと合奏するのが夢そう。



D



F



E

D 木のあたたかみに包まれたリビング。年月とともに深みを増す木の色合いや風味も今後の楽しみ。
E 娘さんのリモートワーク用にあつらえた造作机。腰掛けた正面に窓を設けて、山並みを望みながら
仕事ができる。 **F** 2階のセカンドリビングに設置された箱階段式の造作棚。オープンだから使いや
すく、部屋が雑多にならずに済んでいる。ここも子どもたちにとって格好の遊び場。

家族のニーズに合わせて
アップデートできる
余白のある住まい

T邸の中心に広がる、吹き抜
けのリビング。子どもたちのは
しゃぎ声が響く、家族の憩いの
場です。とはいえ、たまには一
人でのんびりしたいという奥様。
そこで1階にご夫妻それぞれの
個室を設け、2階は娘さんとお
孫さんたちの専用フロアとしま
した。「今は大部屋状態ですが、
子どもの成長に合わせて部屋を
仕切ることも可能です。自由に
カスタマイズできるのがいいで
すね」と娘さん。

設計を担当した角田さんによ
ると、おすすめるは足し算や引き
算ができる「余白のある家」だ
そう。「住んでみて初めてわか
ることもありますが、年月を経て
事情も変わってきます。余白が
あればそれぞれの家族らしくア
ップデートやカスタマイズが楽
しめます」と角田さん。大切
なのは、完璧を求めず最初から
つくりこみすぎないこと。ポテ
ンシャルの高さ、それが暮らしや
すさに直結するのです。

近居の二人を合わせ、五人の
孫をもつご夫妻。住まいづくり

をきっかけに、その絆がさら
深まりました。「我が家は、やっ
ぱり娘や孫たちありきの住まい
なんですよね」とご主人。これ
から夏を迎え、水遊びやパー
キューなどイベントも目白押し。
まさに暮らしそのものを楽しむ
家となりました。「今度の休みは
何しよう」。そんな言葉が聞こ
えてくるようです。



H

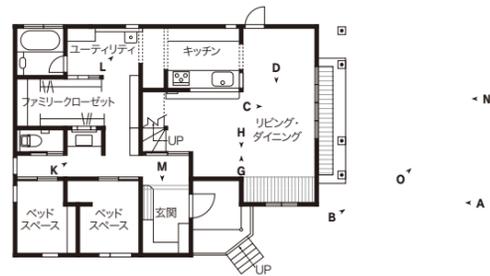


N_リビングに設置された格子状のウッドテラス。階段状になっているので、小さな子ども庭からの出入りがぐんと楽に。 O_学校の友だちも交え外遊びに夢中な子どもたち。「いかにして家の中に呼び戻すか毎日悩むほど」と娘さん。庭は、今後家族で好きな植物を育てて木陰をつくる予定。

DATA

敷地面積 — 436.26㎡ (131.71坪)
 延床面積 — 121.85㎡ (36.79坪)
 1F面積 — 79.49㎡ (24.00坪)
 2F面積 — 42.36㎡ (12.79坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ホワイトウッド集成材3.5寸角、梁:ハイブリッド集成材、土台:ヒノキ3.5寸角 断熱材/屋根:フェノバボード90mm、壁:アクリアネクストα105mm、基礎:スタイロエースII1100mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:ステップル仕上げ・一部Soi仕上げ 主な内装仕上げ/天井:野地板現し・ビニールクロス、壁:ビニールクロス・針葉樹合板、床:スギ無垢材 開口部/複合樹脂サッシ Low-Eトリプルガラス(アルゴンガス入り) キッチン/LIXIL シェラス パスルーム/TOTO サザナ 暖房の種類/温水式パネルヒーター C値/0.68 UA値/0.39



I_ダイナミックな現し天井は屋根断熱仕様のため、木のぬくもりに包まれ、しっかり守られている安心感がある。写真左手は階段をあがってすぐ、キッチンの上にあたるフリースペース。将来、個室として使えるよう窓も2カ所設えた。こどもたちにとっては絶好の遊び場だ。 J_フリースペースの窓や廊下からはリビングが見下ろせ、どこにいても家族の気配が感じられる。



K_洗面コーナーは玄関から入ってすぐのベストポジション。タイル貼りはアクセントになるだけでなく、水が飛びはねても掃除が楽。 L_水周りが集約されたT邸は動線の良さも自慢。洗濯機の横に設けたスロップシンクも大活躍。 M_玄関は帽子や巾着袋など、子どもたちのこまごましたグッズもしっかり納めることができるよう工夫されている。ここなら忘れ物対策もバッチリ。



Owner:
Tさんご家族

Builder:
設計担当/角田敬子さん



Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A 家族が気軽に集まれる場にすることが大前提ですが、一人になりたい時のためにちゃんと個室を用意したことです。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A パネルヒーターです。家中が暖かく空気も汚れません。子どもたちが触っても危なくないのも高ポイントですね。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A すべてです。スタッフさんが抜群のチームワークでこちらの要望に耳を傾け親身になって取り組んでくださいました。

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A 大屋根の下でつながった開放的な空間です。ニーズに合わせて、暮らしやすいよう変化を楽しんでいただければ。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 広いリビング、家の中と外との一体感、大空間でオープンだけれど一人になれる場所があちこちにあること。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A お施主様と対話しながら、人柄や好きなものを知ることで家づくりの“軸”となるテーマを見つけることです。